

令和7年度 浦添西中学校 各教科シラバス

学 年	1年	教科名	美術
教科担当	長井和歌子		
教科書名	美術1（光村図書）		
副教材	光村図書「美術1 資料 つくってみよう見よう」		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 美術科の目標と評価について

教科の目標	(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。
評価の観点	(知識・技能)○それぞれの素材や性質が感情にもたらす効果を理解している。○造形的な特徴をもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわしている。○自分の主題に応じて、制作の順序を考え見通しをもって制作をすすめている。 (思考・判断・表現)○題材に合わせて、自分の中から主題(テーマ)を生み出している。○作品の全体或部分との関係を考えて構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。○作品から、よさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 (主体的に学習に取り組む態度)○自ら進んで表現の活動に楽しく関わり、常によりよい表現を目指している。○独創的な視点から心豊かに表現する構想を練ろうとしている。○表現方法の試行錯誤を重ねて創意工夫をするなど、粘り強く表そうとしている。○自ら進んで楽しみながら、作品のよさや美しさなどを感じとっている。○作品から新しい視点を探して、見方や感じ方を広げようと粘り強く取り組んでいる。
評価方法	①準備・片付け、授業中の取り組み・発表・態度、提出期限、単元テスト ②構想段階のアイデアスケッチ、表現する物の組み合わせ方や配置、発想の独創性 ③題材ごとに使う道具を正しく使えているか、学んだ表現方法以上の工夫があるか ④他者の作品から学び取ろうとしているか、相互鑑賞でのアドバイスや感想、単元テストの点数

2 美術科の学習について

進授業方の	○授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組ましよう。 ○自分の良さを伸ばし、上手くないことがあっても諦めないで最後まで取り組みましよう。 ○作品制作だけでなく、美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるように心がけましよう。 ○アイデアスケッチやワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかり考えて取り組みましよう。 ○教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、学びあいの学習やワークシート等で、自分の意見や感想を表現できるようにましよう。
テスト	・事前に発表された範囲をよく見て学習し、技法や制作手順を振り返っておきましよう。 ・テスト当日の持ち物を忘れないようにましよう。

3 年間指導計画

4月	<p>①単元名(題材名)「鉛筆に慣れよう」「資料について」</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を心豊かに創造し表現している。</p>	<p>授業への持ち物</p> <p>(貸し・借りは、禁止です)</p> <p>・筆記用具(鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・定規・その他)</p>
5月～ 7月	<p>①単元名(題材名)「鉛筆の色の濃淡:鉛筆のタッチ」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能・表現○表現の工夫・形や色彩の捉え</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて表現方法を創意工夫して表すことができる。</p>	<p>・教科書</p> <p>・ファイル</p> <p>・美術資料</p> <p>・絵の具セット(課題によります)</p>
	<p>①単元名(題材名)「色彩学」「響き合う形と色」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p>	
	<p>①単元名(題材名)「文字で楽しく伝える」「絵文字」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p>	
	<p>①単元名(題材名)「鑑賞」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p>	

8月	<p>①単元名(題材名)「美術館へ行こう」「各種ポスターコンクール」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p>
9月 ～12月	<p>①単元名(題材名)「色の世界に出会う」「木と親しむ暮らし・図案」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p>
1月 ～2月	<p>①単元名(題材名)「木と親しむ暮らし・スプーン制作」「鑑賞」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p>
3月	<p>①単元名(題材名)「心ひかれるこの風景」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働き等について考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。</p>

4 家庭学習のアドバイス

○生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイデアを貯めておきましょう。

○いろいろなものをよく見ましょう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。

令和7年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	美術
教科担当	長井和歌子		
教科書名	美術 2・3 (光村図書)		
副 教 材	光村図書「美術1 資料 つくってみよう見よう」		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 美術科の目標と評価について

教 科 的 目 標	(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。
評 価 の 観 点	(知識・技能)○それぞれの素材や性質が感情にもたらす効果を理解している。○造形的な特徴をもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわしている。○自分の主題に応じて、制作の順序を考え見通しをもって制作をすすめている。 (思考・判断・表現)○題材に合わせて、自分の中から主題(テーマ)を生み出している。○作品の全体或部分との関係を考えて構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。○作品から、よさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 (主体的に学習に取り組む態度)○自ら進んで表現の活動に楽しく関わり、常によりよい表現を目指している。○独創的な視点から心豊かに表現する構想を練ろうとしている。○表現方法の試行錯誤を重ねて創意工夫をするなど、粘り強く表そうとしている。○自ら進んで楽しみながら、作品のよさや美しさなどを感じとっている。○作品から新しい視点を探して、見方や感じ方を広げようと粘り強く取り組んでいる。
方 評 法 価	①準備・片付け、授業中の取り組み・発表・態度、提出期限、単元テスト ②構想段階のアイデアスケッチ、表現する物の組み合わせ方や配置、発想の独創性 ③題材ごとに使う道具を正しく使えているか、学んだ表現方法以上の工夫があるか ④他者の作品から学び取ろうとしているか、相互鑑賞でのアドバイスや感想、単元テストの点数

2 美術科の学習について

進 授 め 業 方 の	○授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組みましょう。 ○自分の良さを伸ばし、上手くないことがあっても諦めないで最後まで取り組みましょう。 ○作品制作だけでなく、美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるように心がけましょう。 ○アイデアスケッチやワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかりと考えて取り組みましょう。 ○教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、学びあいの学習やワークシート等で、自分の意見や感想を表現できるようにしましょう。
テ 単 ス ト	・事前に発表された範囲をよく見て学習し、技法や制作手順を振り返っておきましょう。 ・テスト当日の持ち物を忘れないようにしましょう。

3 年間指導計画

4月	<p>①単元名(題材名)「鉛筆デザイン」「心の中の風景を表す」</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を心豊かに創造し表現している。</p>	<p>授業への持ち物</p> <p>(貸し・借りは、禁止です)</p> <p>・筆記用具(鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・定規・その他)</p>
5月～ 7月	<p>①単元名(題材名)「あれ?どうなっているの」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。</p> <p>①単元名(題材名)「形と色の挑戦」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。</p>	<p>・教科書</p> <p>・ファイル</p> <p>・美術資料</p> <p>・絵の具セット(課題によります)</p>
8月	<p>①単元名(題材名)「美術館へ行こう」「各種ポスターコンクール」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。</p>	
9月 ～10月	<p>①単元名(題材名)「篆刻」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさの調和、美術の働き等について独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p>	

11月 ～12月	<p>①単元名(題材名)「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード(四季)」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。</p>
1月 ～2月	<p>①単元名(題材名)日本の絵画を楽しむ五つのキーワード(動物・不思議、)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。美術の働きについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p>
3月	<p>①単元名(題材名)「葛飾北斎 鑑賞」もし自分が北斎なら…(絵)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさの調和、美術の働き等について独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p>

4 家庭学習のアドバイス

○生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイデアを貯めておきましょう。

○いろいろなものをよく見ましょう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。

令和7年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	美術
教科担当	長井和歌子		
教科書名	美術 2・3 (光村図書)		
副教材	光村図書「美術1 資料 つくってみよう見よう」		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点から3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 美術科の目標と評価について

教科の目標	(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。
評価の観点	(知識・技能)○それぞれの素材や性質が感情にもたらす効果を理解している。○造形的な特徴をもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわしている。○自分の主題に応じて、制作の順序を考え見通しをもって制作をすすめている。 (思考・判断・表現)○題材に合わせて、自分の中から主題(テーマ)を生み出している。○作品の全体或部分との関係を考えて構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。○作品から、よさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 (主体的に学習に取り組む態度)○自ら進んで表現の活動に楽しく関わり、常によりよい表現を目指している。○独創的な視点から心豊かに表現する構想を練ろうとしている。○表現方法の試行錯誤を重ねて創意工夫をするなど、粘り強く表そうとしている。○自ら進んで楽しみながら、作品のよさや美しさなどを感じとっている。○作品から新しい視点を探して、見方や感じ方を広げようと粘り強く取り組んでいる。
評価方法	①準備・片付け、授業中の取り組み・発表・態度、提出期限、単元テスト ②構想段階のアイデアスケッチ、表現する物の組み合わせ方や配置、発想の独創性 ③題材ごとに使う道具を正しく使えているか、学んだ表現方法以上の工夫があるか ④他者の作品から学び取ろうとしているか、相互鑑賞でのアドバイスや感想、単元テストの点数

2 美術科の学習について

進授業方の	○授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組みましょう。 ○自分の良さを伸ばし、上手くないことがあっても諦めないで最後まで取り組みましょう。 ○作品制作だけでなく、美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるように心がけましょう。 ○アイデアスケッチやワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかりと考えて取り組みましょう。 ○教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、学びあいの学習やワークシート等で、自分の意見や感想を表現できるようにしましょう。
テスト	・事前に発表された範囲をよく見て学習し、技法や制作手順を振り返っておきましょう。 ・テスト当日の持ち物を忘れないようにしましょう。

3 年間指導計画

4月	<p>①単元名(題材名)「鉛筆デッサン」「うつくしい!」</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を心豊かに創造し表現している。</p>	<p>授業への持ち物</p> <p>(貸し・借りは、禁止です)</p> <p>・筆記用具(鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・定規・その他)</p>
5月～ 7月	<p>①単元名(題材名)「遠近法」「最後の晚餐」「鑑賞」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。</p> <p>①単元名(題材名)「空想の世界へようこそ」「鑑賞」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。</p>	<p>・教科書</p> <p>・ファイル</p> <p>・美術資料</p> <p>・絵の具セット(課題によります)</p>
8月 9月	<p>①単元名(題材名)「美術館へ行こう」「各種ポスターコンクール」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。</p> <p>・美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることが出来る。</p> <p>①単元名(題材名)「心を動かすアニメーション」</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさの調和、美術の働き等について独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p>	

<p>10月 ～11月</p>	<p>①単元名(題材名)「地域の魅力を表すパッケージ」 ②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、表現方法を創意工夫し創造的に表すことができる。</p>
<p>12月 ～3月</p>	<p>①単元名(題材名)「今の自分、これからの自分」「鑑賞」 ②主な評価の観点 ◎知識・技能○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ・自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさの調和、美術の働き等について独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p>

4 家庭学習のアドバイス

○生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイデアを貯めておきましょう。

○いろいろなものをよく見ましょう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。